文法

修飾語のはたらき 5

修飾語のはたらきと使い方を理解する

月　日

名　前

1 次の文の（　）に入る修飾語を□から選んで書き入れましょう。

（　）の修飾語は〰の言葉をくわしくしています。

① （古い）テレビが、とうとう　こわれた。

② 雲の（上を）ジャンボジェット機が　飛びます。

③ 列車の（まどから）青い　海が　見える。

④ ポメラニアンは　小さな（ふわふわの）犬です。

⑤ （お店に）おおぜいの　お客さんが　来る。

お店に　上を　ふわふわの　古い　まどから

2 次の文の中から、修飾語をすべて見つけて、線でかこみましょう。

① 学校の（何の）花だんで（どこで）、赤い（どんな）チューリップが　さきました。（主語／述語）

② ぼくの（だれの）お母さんの（だれの）車は（主語）ピカピカの（どんな）新車だ。（述語）

③ 子ども部屋の（どこの）レースの（何の）カーテンが（主語）ゆらゆらと（どのように）ゆれる。（述語）

④ 三びきの（どんな）こぶたは（主語）、おおかみを（何を）たいじした。（述語）
「わたしは」などの主語を足して考える

⑤ 北海道の（どこの）おじいさんに（だれに）手紙を（何を）書きます。（述語）
「わたしは」などの主語を足して考える

⑥ 朝（いつ）、目玉焼き（何を）を　食べました。（述語）

⑤と⑥の文には、主語がありません。このように主語が省略された文には、「わたしは」「ぼくは」などの主語になる言葉を足してみると、修飾語を見つけやすくなります。

もっと練習したいときは、こちらの「修飾語」プリントを使いましょう。▼

11
問正解

学習プリント無料ダウンロード
ちびむすドリル
© ちびむすドリル